

# 顔の見える木材での快適空間づくり事業のうち A材丸太を原材料とする構造材等の普及啓発

## 【テーマ】循環型ビジネスモデルの構築

### 背景と目的

#### 【背景】

・世界的な森林伐採規制が強化され、輸入材の取り扱いが減り、輸入材の入手が非常に困難になりつつあります。あ、国産材の杉・桧材は強度不足、木ネジ保持力の問題があり、家具としては余り実績が無いのが現状です。

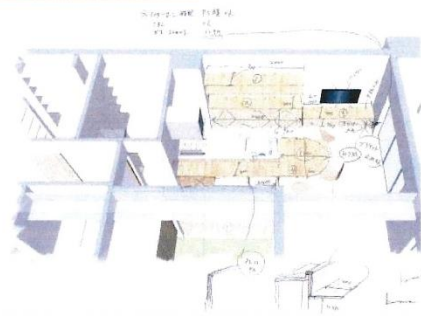
#### 【目的】

・早生広葉樹や一般広葉樹などの地域材を利用した商品開発及び、森林を持つ九州の自治体と循環型産業を構築すること。

### 対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- 家具類 キッチン、食器棚、テーブル、TVボード、収納家具など。
- 建材類 建具類、フローリング。

### 写真・図等



### 事業実施主体

協同組合福岡・大川家具工業会

### 実施体制・連携グループ

- 協同組合福岡・大川家具工業会  
事業実施主体として本事業の企画運営・進捗管理、経理管理、会議の開催、事業報告等を実施
- 協同組合福岡・大川家具工業会 地域材開発委員会  
地域材を活用した家具製作、成果発表実務実施
- 福岡県内の森林組合等  
広葉樹の安定供給
- 九州大学  
広葉樹の性能評価

### 事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ① 広葉樹の家具用材としてのパネル材開発  
寸法安定性を維持し、加工コストを抑えたパネル材の開発
- ② 広葉樹を利用した家具・建具類の商品開発  
広葉樹を活かした家具のデザイン及び試作品製作
- ③ パンフレット作成  
普及イベントのための商品パンフレットの作成
- ④ 普及イベント1  
首都圏の展示会への出展とパンフレット配布による普及活動
- ⑤ 普及イベント2  
地元大川での展示会出展とパンフレット配布による普及活動
- ⑥ 森林を持つ九州の自治体と循環型ビジネスモデルの構築  
森林を持つ自治体が材料を供給し、家具産地大川を九州の木工加工拠点とした循環型産業の構築

### スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

商品企画、資材準備、製作準備

商品製作、パンフレット作成

普及イベント

普及イベント②

報告書作成